

# ① はまなか 議会だより

NO146

令和5年10月15日発行



## 9月定例会

予 審	算 議	新規就業体験事業の内容は	2P~3P
一 質	般 問	5人の議員が町政を問う	5P~9P
		「浜中学」を学んで (高橋 真央 さん)	10P
		「鳳舞」 (豊嶋 風輝 さん)	

### 表紙の写真

9月10日、霧多布岬展望台駐車場にて「ミニきりたんつぶ岬まつり」が開催されました。

当日は、青空のもと浜中町公式観光キャラクター「きりたん」との写真撮影会などが行われ、盛況のうちを終りました。

# 補正予算審議から

9月  
定例会  
6日～7日



浜中ワーケーションスタイルのWebサイトから

## 新規就業体験事業の内容は

9月定例会が6日・7日の2日間の会期で開催。一般会計・特別会計補正予算と条例改正など12議案が上程され、いずれも原案どおり可決しました。一般会計は1億4805万円を追加し、予算総額96億2051万円となりました。一般質問は、5人の議員が登壇しました。

**問** インターネット受入負担金は、150万円は、新たな取り組みとなる新規就業体験事業分である。この事業の内容は。

**答** 民間業者が実施する「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業」への国の補助事業で、人

手不足や高齢化などの問題を抱える地域事業者と移住や起業など地方創生に関心のある人材とのマッチングを図り、担い手確保や新規事業開発による地域・経済の活性化を目指すもの。  
(株)地方創生推進協同機構が実施する「浜中ワーケーションスタイル」の体験希望者15人を公募し「浜中養殖うに」の漁場見学・ウニむ

## 後継者就業交付金 新規申請者の内訳は

**問** 後継者就業交付金の新規分として、農業で300万円、漁業で45万円の増額補正であるが内訳は。

**答** 当初、農業では継続2人・新規1人の180万円、漁業では継続8人・新規1人の395万円を予算計上していた。その後、農業で5人(12カ月×5万円×5人)、漁業で1人(7月から9カ月×5万円)の新規申請があり補正する。

き体験、研修牧場見学・チーズづくり体験や町内事業者との交流会を通じて情報の収集や発信を行う事業への負担金である。  
この事業を契機に、地元商工会・金融機関・事業者と行政が連携し、この事業の継続を含め人材確保に取り組みたい。

当初分を含めた新規申請者の詳細は、農業が学卒者4人で19～22歳・Uターン者2人で20歳と38歳。地区は、西円朱別2人と東円朱別・茶内・姉別・熊牛の各1人。  
漁業は、散布地区の学卒者1人で19歳と仙鳳趾地区のUターン者1人で21歳。

## 放課後児童クラブ

### 移送業務の内容は

**問** 浜中・散布地区から霧多布放課後児童クラブを利用する児童の移送業務委託料32万円は。

**答** 放課後児童クラブは、霧多布と茶内でのみ開設している。他の地区の児童へ

の対応は、霧多布児童クラブへの移送を社会福祉協議会に委託している。

当初は、浜中地区からの1人分を計上していたが、新たに浜中地区2人、散布地区1人の児童が利用することから32万円を補正する。



社協が担う移送業務

## 茶内中学校トイレ改修工事の概要は

**問** 防衛交付金を活用し、茶中トイレ改修工事が3400万円で実施される。財源内訳と工事内容および工期と工期中のトイレ対策は。また、トイレ改修が実施されていない学校と今後の対応は。

**答** 財源は、国の交付金2377万円と公共施設整備基金900万円、残りは一般財源である。工事内容は、内部が便器の洋式化、手洗い場の改修、床・壁・天井の張り替えと照明の交換など。外部は、浄化槽を撤去し下水道への接続など。工期は、120日くらいを要し、冬休みから2月下旬までを予定している。工事期間中は、外に仮設

トイレを設置するが、冬期間を考慮し工事の効率化を図り、仮設トイレ使用期間を極力短縮するよう業者と協議していく。また、未改修の学校は、霧小と霧中の2校であるが

現在の規模での改修には1校約1億円を要することもあり、現在進めている「学校適正規模・適正配置基本計画」の策定状況を見ながら対応を検討していく。

## ふるさと納税 パンフレットの内容は

**問** ふるさと納税パンフレットは、昨年リニューアルして返礼品事業者も紹介されているが、写真だけではなく動画視聴できるQRコードを貼り付けることで、より身近に感じてもらえると思う。補正予算696万円で製作するパンフレットの内容は。また、本年10月からふるさと納税に係る経費や原産地基準が厳格化されるが、本町への影響と8月末までの寄付額の推移は。

できるQRコードを付けたものを一部作成した。その在庫がわずかになり、生産コストの増により返礼品価格も変わったことから、パンフレットを製作する。事業者のQRコードなどは、予算を見ながら検討したい。また、本町はふるさと納税に係る経費率50%を守っており、原産地基準についても影響はないものと考えている。8月末での実績は、前年同期比7803件増の1万9973件で、寄付額は1億2650万円増の3億2675万円である。

**答** 返礼品のカatalogであった。パンフレットを刷新し、浜中町の自然や産業を視聴

## 決算審査特別委員会を設置

令和4年度各会計の決算書が監査委員の意見書を添えて議会に提出されたことにより、議長を除く9人の

議員による特別委員会を設置し、閉会中の継続審査とした。

## 教育委員の任命に同意

教育委員の天間館りゆう子氏が、9月30日付の任期満了をもって退任することになり、後任に中尾美奈氏の提案があり、無記名投票の結果、全員賛成で適任と認め、任命することに同意しました。



中尾 美奈氏  
(茶内)

## 人権擁護委員の推薦に同意

山口寿宏氏は、12月31日付で任期満了となることから、引き続き適任と認め、推薦に同意しました。



山口 寿宏氏  
(茶内)

## 意見書(可決)

◇ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

◇国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書  
(全員賛成)

可決した意見書は、内閣総理大臣をはじめ閣僚大臣、衆・参両議院議長に提出しました。

## 議会議規則の一部改正を議決

□規則の一部改正は、議会への欠席事由として育児、介護などを明文化するとともに、出産について、産前産後の欠席期間を規定する改正を行った。  
また、請願書の記載事項について、請願者の利便性の向上を図るため、押印の義務付けを見直し、署名または記名押印に改める改正を行った。  
施行は公布の日から。

## 水道事業会計 剰余金を減債積立金 などに積み立て

地方公営企業法により、剰余金の処分は議会の議決が必要。  
令和4年度剰余金2063万円のうち1063万円を減債積立金に、1千万円を自己資本金にそれぞれ積み立てるもの。

## 議会映像配信

浜中町議会では、開かれた議会を目指し、より多くの方に議会を知っていただくために、動画配信を行っています。左記のQRコードを読み込んでご視聴ください。

## 議員研修会に参加

北海道町村議会議長会主催の議員研修会が7月4日に札幌市で開催され、議員9人が出席。研修は「ウクライナ危機後の世界と日本」、「日本政治の舞台裏」について、講演が行われた。



# 一般質問

田甫 哲朗 議員



## 問 まちづくり指針の継続は

## 答 基幹産業の振興を軸に 総合計画に沿って

**田甫** 松本町政の12年間は東日本大震災から津波防災に重点を置いた施策の判断があったものと思う。まちづくり指針の3本柱のうち「災害に強いまちづくり」については津波ハード対策のめどが付き一区切りつくものと思う。「地場産業の振興」「子育て支援の充実」に関しては、今後も継続されるべきでは。

**町長** 3・11以降「町民の命を守ることを優先して取り組んできた。防災機能を備えた新庁舎の建設をはじめ、残る津波浸水地区の避難施設整備も国・道の支援を取り付け総事業費18億2千万円のうち町負担額1億6千万円ほどで数年後には完成となる。

浜中町の根幹は、食糧供給基地の役割を担う一次産業であることから、この発展なくして「まちづくり」は描けない。

また、少子化・人口減対策としても子育て支援は重要な施策と考える。いずれにせよ、総合計画を基に町政が運営されるものと思う。

**田甫** 大きな事業計画としてバイオガスプラント事業がある。外的要因により酪農情勢が厳しい中、この事業の目的や将来ビジョンを明確にし、より丁寧で細やかな説明が必要と考える。業務量からも課を横断したプロジェクトチームを立ち上げ取り組むべきと思うが。

**町長** 6月に住民環境課・農林課・農協職員とで先進

地を視察し、8月には説明会を開催している。現在、対象者へ事業参加意向についてアンケート調査を行っている。

今後は、個別・地区別の説明や消化液に関する勉強会などを予定している。進捗状況を見ながら、マンパワーの増強を考えていく。

**田甫** 昨年9月議会で子育て支援策としての一般質問「MO-TTOかせて」の公園化への答弁は、「調査も含め関係職員との協議を進めたい」であった。現在の進捗状況は。

**町長** 子育て支援に関しては給食費の無料化などソフ

ト事業に重点を置いてきたことから、公園整備の協議についてはこの1年間取り組んでいない。

ただ、若い世代との意見交換も含め積み残した課題であり、次の町長に託したいと思っている。



「第6期浜中町まちづくり総合計画」の冊子

# 一般質問

国井 葵 議員



**問** これからの  
浜中町の学校づくりは

**答** 浜中町にとって最も良い  
学校の在り方を考えていく

**国井** 文部科学省によって「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」が策定されている。本町でも、今年4月の町内配布にて浜中町学校適正規模・適正配置検討委員会委員の一般公募が行われたが本委員会の構成員と人数および公募に対する応募人数と採用者の選考理由は。

**教育長** 本委員会は学識経

験者3人、各学校運営協議会協議員4人、保護者4人、各種団体代表者3人、そして公募委員1人により構成される。学識経験者のうち1人は女性。人数は、設置条例に基づき15人以内としている。募集期間内に応募がなかったため公募委員の採用はない。

**国井** 作文提出を条件とした公募方法は適切だったか。公募や委員会発足に当たり他町村事例を参考としたか。

**教育長** 管内町村の事例を参考にしながら、応募者の立場や学校づくりへの思いを評価するため作文提出を条件とした。

**国井** 公募委員の再公募は、**教育長** 応募締め切り後、教育委員会定例会で委員委嘱の審議を行う必要がある、定例会に間に合わないという判断で進めた。

**国井** 公募に替わる手立てとして一般町民の傍聴を検討できないか。

**教育長** 傍聴は今のところ考えていない。

**国井** 本委員会の位置付け

と具体的な目標は。また、第1回委員会の開催日時と検討内容は。

**教育長** 今後の学校適正規模・適正配置基本計画策定にあたって基本的な考え方を協議していただき、令和6年度中に基本計画の素案を策定。令和7年度から計画に基づき開始する。

第1回委員会は9月1日に開催され、委員会の設置目的や本町の学校統廃合の取り組みなどについて共通理解を図った。

また、本年の異常な暑さへの対応について意見が出された。将来的な学校づくりと合わせて喫緊課題への情報共有も図っていく。

**国井** 現状で最優先すべき課題は何か。



築50年になる霧多布中学校

**教育長** これからの浜中町にとって何が最も良いか考えていく。山積する課題は多いが中でも霧多布中学校校舎の老朽化を考えていきたい。各地域が抱えている課題に向き合っていく。



# 一般質問

渡邊 秀治 議員

問

## スマートフォン講習会の実施を

答

有効性が高いものがあれば活用について検討していきたい

**渡邊** 総務省が展開するデジタル活用支援推進事業では、令和5年度からは携帯シヨップがない市町村を対象とした講習会を拡充するとしている。  
例えば、電源の入れ方やインターネットの使い方など、機器の操作の仕方を含めた「基本講座」を通じてスマートフォンやパソコンを使った経験のない人たちが



高齢者を対象とした基本講座

も参加できる内容である。本町も昨年全戸光回線が開通しブロードバンド化が

図られ、同時にスマートフォンの普及率も高まっている。その反面、操作が難し

く電話機能以外には使えていないというような声も多く聞かれる。  
この総務省の事業を活用し、講師派遣のスキームによる講習会開催の予定はあるか。

**町長** デジタル活用支援推進事業については、現在、開催の予定はないが、応募時期などを再確認し有効性が高いものがあれば活用について検討していきたい。

**渡邊** 従来型のいわゆるガラケーからスマートフォンに機種変更した中高年以上の人も多く、使用方法などに困っている実情は非常に目立っている。この機会を捉えて講習会開催の検討を望みたい。

**町長** 現在社会的にデジタル化が急速に進んでいて、特段望んでいないことにもデジタル化を強いられる状況がある。それにより詐欺や犯罪の被害につながるような問題もある。

必要な情報を町民に伝え、有効性が高いものがあればその都度活用について検討していきたい。

# 一般質問

三膳 時子 議員



**三膳** 霧多布温泉ゆうゆの運営に指定管理者制度を導入した理由は。

**町長** 民間の能力を活用することにより、住民サービス向上や経費の削減を目指す目的である。

**三膳** 霧多布温泉ゆうゆプロジェクト（ゆうゆPJ）を指定管理者とした理由は。

**町長** 審査機関として浜中町ふれあい交流保養センター

## 霧多布温泉ゆうゆと 岬キャンプ場の課題対応は

問

## 指定管理者と 改善に向け協議する

答

1 指定管理者選定委員会が設置され、審査基準に基づき1次、2次審査を経て決定。

**三膳** ゆうゆを利用しては町内外の割合は。

**町長** 入浴者の統計で町内22・9%、管内37・2%、その他道内16%、道外23・9%。

**三膳** ゆうゆPJが指定管理者として継続したが問題はなにか。

**町長** 審査基準と指定管理委員の決定で問題はない。

**三膳** ゆうゆPJと定期的な話し合いを設けているか。

**町長** 運営は基本的にはゆうゆPJに任せている。施設に関しては都度総括マネージャーと協議している。

**三膳** 継続するうえで条件の変更はあるか。  
**町長** 大幅な運営内容は変



拡張が望まれる 岬キャンプ場

別の説明、キャンプ場内外の管理、清掃、草刈り、修繕など。

**三膳** ゆうゆやキャンプ場の苦情は把握しているか。

**町長** ゆうゆに関する苦情は、町には寄せられていない。キャンプ場の苦情は、駐車場の狭さ、トイレの臭い、バンガローの狭さ、アリの侵入や雨水が入るなど。

**三膳** ゆうゆの苦情として出入り口の看板の分かりづらさ、町内業者の商品がゆうゆだけ高価格。虫の侵入でくつるげないなど。キャンプ場の苦情は、駐車場整理、キャンプサイトの草刈りが間に合っていないなど。管理人がいなことが問題ではないか。

**町長** 管理人の確保ができず、ゆうゆPJに委託とした。受付と現場の乖離は想定内ではあったが、風光明媚な評判の良いキャンプ場で浜中町の自慢でもあり、喫緊の課題として整備管理していく。

一般質問の中で一部不適切な発言があったことを、お詫び申し上げます。





# 一般質問

谷村 敦 議員

問

新川地区河川の  
浚渫工事の見通しは

答

今後は町として  
業者を交え検討していく

**谷村** 昆布漁も最盛期を迎え厳しく定められた操業時間の中、収穫した昆布を一割も早く干場に並べ乾燥させたい。このような作業の流れから分かるようにまさにスピードが勝負ともいえる。しかし、長年にわたり浅くなった川底とそこに繁茂する水草により新川地区河川の航行に支障を来しているのが現状である。町は

こういった状況を把握していたか。

**町長** 自治会長から他の部分での補修などの要望はあったが、今回指摘の部分は調査しておらず把握していなかった。

**谷村** 通常の浚渫工事を行った場合、護岸の強度に不安があると聞くが町としての認識は。

**町長** 平成元年に護岸工事を行ったが耐用年数は30年であり、既に腐食が激しく工事業者にもリスクがあるということとは把握している。しかし、町が現場を確認したということではないので現地で業者とともに立ち会い最善策を探り検討したい。



地域住民による航行に支障を来す藻の除去作業（新川水門）

# 風香

## 「浜中学」を学んで

霧多布高等学校3年A組

高橋 真央

私たちは入学からの3年間、浜中学を学ぶ中でこの町の素晴らしさを再発見しています。1年次では浜中町の酪農業を体験させていただきました。

実際に牧場に足を運び搾乳の現場を見せていただき子牛にミルクをあげる体験をさせていただきました。実際に牛の世話をしている様子を間近で見るのは初めてで普段は経験できない貴重なものとなりました。搾乳ロボットが導入されている牧場も見学させていただきました。近年、酪農業は手作業だけでなく機械を活用している農家さんも増えており、負担を少しでも減らせるような工夫がされてい

ると感じました。冬には「MOTTOOかせて」で、浜中町の特産品を使ったピザのレシピを考案し、実際に作りました。どのチームも浜中町の海鮮やチーズなどを使い、とてもおいしくピザを作ることができました。ピザを食べた後にはそれぞれのグループごとにプレゼンテーションを行うなど、どうすればよりたくさんの方がこのピザを食べたいと思ってくれるのかを考えました。

2年次からは、アドベンチャートラベルという自然の中のアクティビティや異文化体験をする旅行のスタイルに着目し霧多布湿原センターと協力してデイキャンプを行いました。デイキャンプでは2つのグループに分かれ、釣りに行く班は、釣り竿を木の枝などから自分たちで作って実際に作った釣り竿を使っています。もう一つの班は「自然の中の休息」をテーマに、湿原の中から倒木を切り薪にして火をおこし、マシユマロやチーズを焼いて食べました。浜中の美しい自然の中で行く

デイキャンプはとても楽しく浜中町の魅力を再発見できる有意義な機会となりました。そして、3年次では浜中町でまだ行われていないアドベンチャートラベルを考案し、9月25日(月)に霧多布湿原センターで行う「おいでよハマフェス」というイベントにて実践します。私たち3年生がアドベンチャートラベルをこれから考え、浜中町の魅力を体験してもらい「また来たい」「これからもこの町にいたい」と思えるよう企画しています。

6つの体験があり、どれも楽しめるものとなっています。そして、このイベントについて10月末に行われる浜中学報告会で報告します。アドベンチャートラベルを通じて浜中町のさらなる発展を高校生の視点から考えていきます。

- 揮毫 3年A組 豊嶋風輝さん
- 読み方 鳳舞(ほうぶ)
- 意味 鳳凰が舞う。天下泰平の象徴。

## 町のトピックス



さっぽろオータムフェスト

9月29日撮影

さっぽろオータムフェストが開催され、浜中町は9月28日(木)から9月30日(土)までの3日間出店しました。

浜中ブースでは、浜中町の特産品である蒸し牡蠣や花咲ガニの鉄砲汁を販売し、多くの来場客が浜中の味覚を堪能しました。



町のトピックス(話題)を募集します!

この欄に掲載するまちの季節の写真をお寄せください。次回の発行は令和6年1月15日です。

ご応募はこちらへ 浜中町議会事務局  
E-mail: gika@town.hamanaka.jp TEL: 62-2265

この議会だよりは、再生紙を使っています

発行 北海道浜中町議会  
編集 議会広報公聴常任委員会

〒088-1592  
北海道厚岸郡浜中町湯沸445番地  
0153-62-2265